

風力発電施設「建設中断を」

南伊豆・石廊崎 近接住民、町に要請

南伊豆町石廊崎の山林に風力発電施設17基を建設する計画について、施設から最短で約300メートル離れた同町大瀬の

住民が23日、「威圧的な構造物に囲まれ、視覚的、精神的苦痛は耐え難い」などと



て、工事の即時中断を求め、要望書を千人を越す署名と一緒に鈴木史鶴哉町長に手渡し、たし写真。

工事の中断を求めたのは鈴木エリザベスさん(47)。鈴木さんは13年前に下田市から移り住み、子どもたちに英語などを教える「ピース・スクール」を開設。「風車がスクールを取り囲むように予定されている、子どもの大切な学びの場の自然が激変してしまふ」と訴えている。鈴木さんのほか、風車から最短で約200メートルの加納地区の1軒と、約450メートルの下流地区の1軒

も「事業の事前説明がなかった」として業者に建設の一部取りやめを求めている。

要望に対し、鈴木町長は「クリーンエネルギーの風力発電は全国で展開されている。すでに県の林地開発許可が出て、法律に基づく工事が始めており、中断させる権限は町にない」とする一方で、「要望を事業者に伝え、責任を持って説明するよう指導する」と約束した。

風力発電施設を建設するのは、電源開発とM&Dグリーンエネルギー、豊田通商の3社が共同出資した「ジェイウインド石廊崎」(東京都)。石廊崎方向に縦に走る通称「走雲峡ライン」の両側の山の尾根に、1基あたり出力2

千キロワットの発電施設を計17基建設する。塔の高さは約80メートル、羽根の半径は40メートル。3月から樹木の伐採など現地工事が始まっていて、10年3月に運転を開始する予定だ。

電源開発は「17基の計画変更は考えていないが、3軒と誠意を持って話し合いを続ける」と話している。